

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	製パン実習	学科名	パティシエ・ブーランジェ学科			授業方法	実技
担当教員	中原 康人	学年・学期	2年・通年	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	1年次に習った事の応用として様々なパンを学び、さらに知識、技術を取得する。国によって違う多様なパンに触れ、より多くの知識理解を深める。						
到達目標	・基本的な製パン技術の取得 ・パン作りの流れを理解する						
授業計画・内容							
第1週	・授業説明 ベーグル①		第16週	・ドイツパン② カイザーゼンメル、ダッチブレッド			
第2週			第17週				
第3週	・ベーグル②		第18週	・アレンジパン			
第4週			第19週				
第5週	・メロンパン		第20週	・クロワッサン			
第6週			第21週				
第7週	・食パン①		第22週	・クリスマスのパン シュトーレン			
第8週			第23週				
第9週	・食パン②		第24週	・カレーパン、ピロシキ			
第10週			第25週				
第11週	・ドイツパン ライ麦パン、ブレッヒクーヘン		第26週	・アレンジパン			
第12週			第27週				
第13週	・前期テストデモンストレーション		第28週	・後期テストデモンストレーション			
第14週			第29週				
第15週	・前期テスト		第30週	・後期テスト			
評価方法	・定期的なノート提出 ・出席数、授業態度 ・前期・後期の試験 以上を踏まえて評価とする						
教科書 教材など	・製菓衛生師全書 ・製菓衛生師教本 上下 ・パン「コツ」の科学						
実務経験	ベーカリーレストランでシェフの経験を経て、現在フレンチレストラン 経営者兼オーナーシェフ 実務経験10年以上				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	高度実践製菓実習Ⅰ	学科名	パティシエ・ブーランジェ学科			授業方法	実技
担当教員	中原 由佳子	学年・学期	2年・通年	時間数	180 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	生地の種類の特性を生かし、素材の組合せを楽しむ。アイデアを作品にするデザイン力を身につける。旬の果物や種子類について知り、加工品や保存の知識を深める。菓子に適したラッピング方法を学ぶ。						
到達目標	製菓の基礎から応用をより深く追求し、技術向上を目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	・授業について、授業の説明 ・1年次の復習		第16週	・種実類 栗の加工			
第2週	・基礎技術の復習 別立てロールケーキ		第17週	・果物の加工			
第3週	・基礎技術の復習 いちごのロールケーキ		第18週	・りんご、桃、洋ナシ、いちぢくの加工			
第4週	・生地の応用 シュクレ、ダイヤモンド、スクランブル ・バナナのタルト・フラン		第19週	・シュミレーション実習 イベントの演出			
第5週	・ムースの応用 ・チョコレートムース		第20週	・シュミレーション実習 試作、仕込み			
第6週	・ムースの応用 ・フルーツのムース		第21週	・シュミレーション実習 ラッピング、演出、販売			
第7週	・ムースの応用 ・その他のムース		第22週	・チョコレートの応用 トリュフ			
第8週	・組み立ての応用 素材別の組み立て		第23週	・シュミレーション実習②			
第9週	・タルト		第24週	・シュミレーション実習② 試作、仕込み			
第10週	・ジョコンド		第25週	・シュミレーション実習③ ラッピング、演出、販売			
第11週	・その他の素材の組み立て		第26週	・卒業制作展について③作品制作			
第12週	・素材の応用 ナッツ		第27週	・卒業制作展について④作品制作			
第13週	・ナッツ類を使用した生地		第28週	・卒業制作展について⑤作品制作			
第14週	・ナッツの加工 ペースト		第29週	後期試験			
第15週	前期試験		第30週	振り返り			
評価方法	・定期的なノート提出、提出物 ・出席数、授業態度 ・前期・後期の試験 ・イベント、コンテスト等 以上を踏まえて評価とする。						
教科書 教材など	・製菓衛生師全書 ・お菓子「コツ」の科学 ・製菓衛生師教本 上下						
実務経験	洋菓子店、レストランでパティシエとして勤務経験あり、実務経験7年以上、また製菓衛生師取得後3年以上				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	高度実践製菓実習Ⅱ		学科名	パティシエ・ブーランジェ学科		授業方法	実技	
担当教員	石井 美紗恵 ・ 有信 秀和		学年・学期	2年・通年	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	1年次に学んだ事の応用やより実践的な内容を学ぶ。高度な製菓技術として、チョコレートのテンパリングや、アメ細工、シュガークラフトなどを学び知識、技術に触れる。就職を意識し、現場で活かせる技術の習得や人間性を身に付ける。授業の中で報告、連絡をする癖をつける。							
到達目標	・製菓の基礎技術を取得し、応用力を身に付ける。 ・就職してからを見据え働く上で必要な忍耐力や人間力を養う。							
授業計画・内容								
第1週	・授業の説明、1年次の振り返り ・ラリマシャンティ			第16週	2級技能士デコレーションケーキ			
第2週	・マフィン ・オペラ ・サンマルク			第17週	2級技能士デコレーションケーキ			
第3週	・洋菓子コンテスト ・マジパン細工			第18週	・シブースト ・シュー生地			
第4週	・洋菓子コンテスト ・マジパン細工			第19週	・キャラメルムース ・ドイツ菓子			
第5週	・洋菓子コンテスト ・マジパン細工			第20週	・タルト・タタン ・サントノレ			
第6週	・バンドジェーヌ ・ティグレ			第21週	・アメ細工			
第7週	・イタリアの菓子①ティラミス ・イタリアの菓子②ズコット			第22週	・アメ細工			
第8週	・シャルロット・オ・ピスターシュ ・マカロン			第23週	・2級技能士のデコレーション			
第9週	・エンガディナー ・ムース・オ・フリーズ			第24週	・ガレット・デ・ロワ ・フォレノワール			
第10週	・ガトー・ショコラ・ド・ナンスイ ・ケック・オ・マロン			第25週	・生チョコタルト ・ガトーショコラクラシック			
第11週	・バタークリームのデコレーション ・くるみのケーキ			第26週	・チョコレート細工 ・ボンボンショコラ			
第12週	・タルト・オ・シトロン ・リンツァートルテ			第27週	・アントルメ			
第13週	・サントノレ ・クロカン・シュー			第28週	・卒業制作展			
第14週	・デコレーションケーキ			第29週	・卒業制作展			
第15週	・デコレーションケーキ ・前期テスト			第30週	・卒業制作展 ・後期テスト			
評価方法	・定期的なノート提出、提出物 ・出席数、授業態度 ・前期・後期の試験 以上を踏まえて評価とする。							
教科書 教材など	・製菓衛生師全書 ・お菓子「コツ」の科学 ・製菓衛生師教本 上下 ・パン「コツ」の科学 ・製菓衛生師の手引き							
実務経験	パティスリーなどでの実務経験7年以上、また製菓衛生師取得後3年以上					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	アシェット・デセール実習		学科名	パティシエ・ブーランジェ学科		授業方法	実技	
担当教員	有信 秀和 ・ 石井 美紗恵		学年・学期	2年・通年	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	アシェットデセールの概念を理解し、アイデアを作品にする力を身に付ける。 素材の組合せや、食感や味のバランス、量など1皿の演出を楽しむ。 お客様に楽しんでいただく演出を学ぶ。							
到達目標	アシェットデセールの基本である様々なパーツを製作し、アイデア、センスを磨く事を目標とする。 パイピングなど現場で活用できる技術の習得を目指す。							
授業計画・内容								
第1週	授業の説明 アシェットデセールとは			第16週	パイピングについて			
第2週	デモンストレーション			第17週	お皿のデコレーション			
第3週	デザートのパーツについて			第18週	デザートコンテストについて			
第4週	チョコレートのテンパリング チョコレートの飾り			第19週	デザートコンテスト① 概要、デザイン、アイデア			
第5週	飴細工 飴の飾り			第20週	デザートコンテスト② 仕込み、試作			
第6週	その他のパーツについて			第21週	デザートコンテスト③ 本番			
第7週	氷菓の基本① ジェラート			第22週	デザートコンテスト④ 反省振り返り			
第8週	氷菓の基本② セミフレッド、ソルベ			第23週	温かいデザート① スフレ			
第9週	様々なソースについて			第24週	温かいデザート① フォンダンショコラ			
第10週	果物の使い方			第25週	デザートコンテスト① デザイン、アイデア			
第11週	果物のパーツ コンポート、ドライフルーツ			第26週	デザートコンテスト② 仕込み、試作			
第12週	果物のパーツ コンフィチュール			第27週	デザートコンテスト③ 本番			
第13週	果物のカットting①			第28週	卒業制作展のデザート①			
第14週	果物のカットting②			第29週	卒業制作展のデザート②			
第15週	前期テスト			第30週	後期テスト			
評価方法	・定期的なノート・課題の提出 ・出席、授業態度また実習での協調性 ・前期・後期の試験 以上を踏まえ成績とする							
教科書 教材など	・製菓衛生師全書 ・お菓子「コツ」の科学 ・製菓衛生師教本 上下							
実務経験	パティスリーなどでの実務経験7年以上、また製菓衛生師取得後3年以上					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	カフェ運営実習	学科名	パティシエ・ブーランジェ学科			授業方法	実技
担当教員	石井 美紗恵	学年・学期	2年・通年	時間数	210 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	1年次に学んだ菓子の製造技術や接客力、ドリンク技術などを活かしより実践的に活動を行う。校内販売会や田町カフェを使用したカフェ営業を定期的に学生主体で考え行う。実際にお客様と接することで、実践力を身に付ける。また、販売促進や原価計算、売上計算など店舗の経営学についても学ぶ。						
到達目標	・基礎技術の向上、応用力を身に付ける ・自分で考え行動出来る様になる ・サービス業に携わる者としての自覚を持ち、プロフェッショナルを目指す						
授業計画・内容							
第1週	・授業の説明、カフェ運営について		第16週	・コンビニの商品について			
第2週	・定番商品とおすすめ商品 ・店舗リサーチ①		第17週	・カフェメニューの開発・研究			
第3週	・カフェ運営計画①テーマ・メニュー		第18週	・カフェ運営計画①テーマ・メニュー、販売促進			
第4週	・カフェ運営計画②販売促進・試作		第19週	・カフェ運営計画②商品開発・原価計算			
第5週	・カフェ運営計画③商品開発・試作		第20週	・カフェ運営計画③商品製造			
第6週	・カフェ運営計画⑤原価計算・商品製造		第21週	・カフェ運営計画④商品製造、包装・会場準備			
第7週	・カフェ運営計画⑥商品製造、包装・会場準備		第22週	・カフェ運営計画⑤本番			
第8週	・カフェ運営計画⑧本番		第23週	・カフェ運営の反省・まとめ			
第9週	・カフェ運営の反省・まとめ		第24週	・カフェメニューの開発・研究			
第10週	販売促進について チラシの作り方 ・プライスカードについて		第25週	・カフェメニューの開発・研究			
第11週	・カフェ運営計画① テーマ・メニュー		第26週	・カフェ運営計画①テーマ・メニュー、販売促進			
第12週	・カフェ運営計画②販売促進、商品開発		第27週	・カフェ運営計画②商品開発・原価計算			
第13週	・カフェ運営計画③商品開発・原価計算		第28週	・カフェ運営計画③商品製造、包装・会場準備			
第14週	・カフェ運営計画④商品製造、包装・会場準備		第29週	・カフェ運営計画④本番			
第15週	・カフェ運営計画⑤本番・反省・まとめ		第30週	・カフェ運営の反省・まとめ			
評価方法	・提出物の提出 ・出席率 ・授業態度また実習での協調性 ・前期後期の定期試験 以上を踏まえ成績とする。						
教科書 教材など	新星出版社 紅茶の教科書 珈琲完全バイブル 等						
実務経験	パティスリー、カフェ等での実務経験7年以上、また製菓衛生師取得後3年以上				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	フード・ドリンク実習		学科名	パティシエ・ブーランジェ学科		授業方法	演習	
担当教員	石井 美紗恵		学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	1年次に学んだ、紅茶・コーヒーをさらに深く知識・技術を学ぶ。紅茶やコーヒーのオリジナルブレンドや素材の組み合わせを学ぶ。また、日本茶や中国茶なども取り入れ、様々な飲み物に触れる。様々な飲み物と菓子のマリージュを学び、お客様に提供ができる知識や技術を身に着ける。実習形式での授業を行う。外部講師の特別授業を取り入れ、深い知識を得る。							
到達目標	・様々なドリンクの淹れ方を習得する。 ・世界の様々なドリンクを知り知識を深める。 ・食べ物と飲み物の組合せ、相性を知りお客様に提案出来る様になる。							
授業計画・内容								
第1週	・1年次の振り返り ・自家製レモネードシロップ・ジンジャーシロップ			第16週	・アフタヌーンティーについて①			
第2週	・紅茶の淹れ方 ・紅茶に合う食べ物			第17週	・アフタヌーンティーについて②			
第3週	・インドの紅茶 ・スリランカの紅茶			第18週	・コーヒーの焙煎について			
第4週	・コーヒーの淹れ方 ・コーヒーに合う食べ物			第19週	・コーヒーの自家焙煎			
第5週	外部講師による特別授業① コーヒーのブレンドについて			第20週	外部講師によるコーヒーの特別授業②			
第6週	・中国茶について			第21週	外部講師によるコーヒーの特別授業③			
第7週	・エ芸茶について			第22週	・外部講師によるノンアルコールドリンク特別授業			
第8週	・日本茶のフードペアリング ・日本茶のマナー			第23週	・ノンアルコールカクテルとは ・シェイカーの使い方			
第9週	・オリジナルブレンドティーについて ・オリジナルブレンドティーの製作①			第24週	・ノンアルコールカクテルの作り方			
第10週	・エスプレッソマシーンについて ・カフェオレとカフェラテの違い			第25週	・カフェのデザート①			
第11週	・アイスカフェラテ ・ラテアート ・カフェモカ			第26週	・カフェのデザート②			
第12週	・エスプレッソマシーンの使い方 ・ラテアート			第27週	・アレンジドリンクの製作①			
第13週	・アレンジドリンク①			第28週	・アレンジドリンクの製作②			
第14週	・ハーブティーについて			第29週	・後期試験			
第15週	・前期試験			第30週	・2年間の振り返り			
評価方法	・定期的なノート・課題の提出 ・出席、授業態度また実習での協調性 ・前期・後期の試験 以上を踏まえ成績とする							
教科書 教材など	新星出版社 紅茶の教科書 成美堂出版社 コーヒーの大事典 珈琲完全バイブル							
実務経験	カフェ等での実務経験、カフェ&ティーアドバイザー資格取得					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	ヴァンドウーズ	学科名	パティシエ・ブーランジェ学科			授業方法	演習
担当教員	石井 美紗恵 ・ 堀 由梨奈	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	洋菓子店の「プロ」接客員としての接客の基礎知識・技術を学ぶ。ヴァンドウーズとして基本的な挨拶や身だしなみはもちろん、お客様へのおもてなしの心について深く学びます。また、ラッピング技術やプチガトーの扱い方や箱詰め、スパーサーの使い方なども身に着けます。 授業はロールプレイを取り入れ、カフェ実習室を使用し、現場に近い形で行い実践力を養います。						
到達目標	・ヴァンドウーズとしての基礎の知識・技術を身に着ける ・おもてなしの心を学ぶ ・お客様の気持ちを理解し行動出来るようになる ・サービス業に携わる者としての自覚を持ち、プロフェッショナルを目指す						
授業計画・内容							
第1週	・授業の説明 ・ヴァンドウーズとは		第16週	・商品の扱い方について			
第2週	・ヴァンドウーズの意味 ・サービスとはなにか		第17週	・スパーサーの技術①スパーサーとは			
第3週	・ヴァンドウーズの価値		第18週	・スパーサーの技術②種類と作り方			
第4週	・ヴァンドウーズの知識と技術		第19週	・スパーサーの技術③実践			
第5週	・身だしなみについて		第20週	・商品のディスプレイ・陳列について①			
第6週	・衛生の知識について		第21週	・商品のディスプレイ・陳列について②			
第7週	・挨拶の意味・基本		第22週	・ラッピング技術について①			
第8週	・お辞儀について		第23週	・ラッピング技術について②			
第9週	・販売実習 デモンストレーション		第24週	・接客実践①			
第10週	・言葉遣いについて		第25週	・接客実践②			
第11週	・商品説明について		第26週	・接客実践③			
第12週	・オーダーの取り方		第27週	・電話対応①			
第13週	・商品の受け渡し		第28週	・電話対応②			
第14週	・お会計について		第29週	・領収書について			
第15週	・前期試験		第30週	・後期試験			
評価方法	・定期的なノート・課題の提出 ・出席、授業態度また実習での協調性 ・前期・後期の試験 以上を踏まえ成績とする						
教科書 教材など	旭屋出版 わたしはヴァンドウーズ ヴァンドウーズ ルールブック						
実務経験	カフェ等での実務経験 ヴァンドウーズ資格取得				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	パティスリーラッピング	学科名	パティシエ・ブーランジェ学科			授業方法	演習
担当教員	梶並 珠久子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	パティスリーラッピング教本に基づきパティシエとして身につけるべきラッピング技術の基本を学ぶ。また応用編として、スイーツのオリジナルラッピングの実習、さらに各人が材料を考え準備して仕上げるなどのラッピングで創意工夫する意欲も身につける。						
到達目標	パティスリーラッピング検定の全員合格。ラッピングの重要性や楽しさを実践の中で実感し、社会人になっても資格を大いに活用して継続的に通用するラッピングスキルや知恵を身につける。						
授業計画・内容							
第1週	はじめに。ラッピングのための食品衛生と食品表示について。 ラッピングに必要な道具、材料について。リボンの蝶結び×2種、リボン名称						
第2週	蝶結び復習。リボンカット4種類。あわせ包み。						
第3週	折り返し包み、リボン掛け(ボーダー、ストライプ)						
第4週	斜め包み、リボン掛け(斜め掛け、十字掛け)、リボン掛けのバランス						
第5週	プリーツ包み、リボンワーク(シングル)						
第6週	スクエア包み、リボンワーク(ダブル、フレンチ)						
第7週	カーリングリボン、円柱ボックスラッピング、のし紙について						
第8週	バスケット包み、水引ワーク、水引きについて						
第9週	カラーコーディネートについて。脱酸素剤について						
第10週	乾燥剤、保冷剤について。スパーサーについて						
第11週	イベントに合わせたラッピングについて。テトラ袋づくり×2、ワックスペーパーを使って						
第12週	ワックスペーパーを使って、紙コップを使って×2、マチ付き袋の閉じ方						
第13週	マチ付き袋の閉じ方続き、リボンワーク(ポンポンボウ、ウェーブボウ)						
第14週	包装・リボンの応用デモンストレーション、テキストまとめ復習、検定試験用復習						
第15週	季節・行事のラッピング製作→発表会						
評価方法	授業での実習レベルや授業態度、提出物等 30% 前期試験(検定試験)の点数・出来栄 70%						
教科書 教材など	パティスリーラッピング教本ほか						
実務経験	(有)ゆめぱれっとCORPORATIONにて19年、各種教室や、業務としてトータルコーディネート、企画プロデュースに携わる。				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	テーブルコーディネート	学科名	パティシエ・ブーランジェ学科			授業方法	演習
担当教員	梶並 珠久子	学年・学期	2年・後期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	食にかかわるものとして重要となる食事の正しい配膳やセッティング、テーブルマナーの知識、また食器やリネン、歳時など食に関連するものの基本知識について学習する。さらに季節感や色彩を考慮したテーブルコーディネート技法について学ぶ。また季節や行事の店舗ディスプレイと、テーブルコーディネートのグループ実習を行い披露する。						
到達目標	今後の仕事や生活の中で生かしていけるだけの食の基本となるテーブルコーディネート全般の基本知識やスキルを身に着ける。食やスイーツに向上心を持って一層楽しく向き合える一助となるよう導く						
授業計画・内容							
第1週	テーブルコーディネートとは、テーブルコーディネートが大切なわけ。テーブルコーディネートの基本項目						
第2週	食卓の構成、テーブルコーディネートに必要なものについて(リネン、食器)						
第3週	テーブルコーディネートに必要なものについて(カトラリー、グラス、フィギュア)						
第4週	ティーセッティングについて、洋食のセッティングについて、洋食のレストランマナーについて						
第5週	和食のセッティングについて、和食のマナーについて、外国の歳時について						
第6週	日本の歳時について、五節句について						
第7週	人生儀礼の行事、席次について、ディスプレイの基本について						
第8週	招待状作成について(設計)						
第9週	招待状作成						
第10週	招待状作成・完成						
第11週	テーブルコーディネート・ディスプレイグループ学習の説明、設計シート作成						
第12週	テーブルコーディネート・ディスプレイグループ実習・シミュレーション						
第13週	テーブルコーディネート・ディスプレイグループ実習・シミュレーション完成						
第14週	搬入(セッティング)						
第15週	搬出(片付け)						
評価方法	授業時間内の様子、提出物、グループ実習態度等 30% 後期試験の点数 70%						
教科書 教材など	レジメ(プリント)を準備						
実務経験	(有)ゆめぱれっとCORPORATIONにて21年、各種教室や、業務としてトータルコーディネート、企画プロデュースに携わる。				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	POP	学科名	パティシエ・ブーランジェ学科			授業方法	演習
担当教員	岩崎 孝子	学年・学期	2年・後期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	フェルトペン(油性マーカー・水性マーカー)を用いて、プライスカードやイラストなどをバランス良く、センス良く、かつ素早く作成する。						
到達目標	ショップ展開時に、POP(プライスカード・ショーカードなど)作成において美的センスを生かし、効果を発揮できるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	POPについて、丸マーカー基礎						
第2週	丸マーカー 数字 カタカナ						
第3週	丸マーカー 英文字 単語						
第4週	丸マーカー ひらがな 漢字 名前						
第5週	角マーカー 基礎カーブ 数字						
第6週	角マーカー カタカナ 英文字						
第7週	角マーカー ひらがな						
第8週	角マーカー 漢字						
第9週	装飾風文字						
第10週	色彩トレーニング						
第11週	タイトル字をデザイン						
第12週	立体POP						
第13週	イリュージョン						
第14週	色鉛筆の使い方						
第15週	イラストレーション						
評価方法	試験、作成能力、成長度、提出、授業態度、出席を総合的に評価する。						
教科書 教材など	POP広告クリエイター技能試験ガイド POPレタリング&デザイン①②③ 実戦POPハンドブック カラーマーカー						
実務経験	デザイン会社勤務、カルチャースクール講師				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	試験対策	学科名	パティシエ・ブーランジェ学科			授業方法	講義
担当教員	石井 美紗恵 ・ 岡田 泰子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	製菓衛生師受験に向けての対策授業と、就職活動をする上で必要となるスキルを学ぶ授業を交互に行います。前期の8月には製菓衛生師試験の受験を行います。						
到達目標	・製菓衛生師の受験・合格 ・希望の就職先への内定 ・社会人・業界人としての知識を深める						
授業計画・内容							
第1週	・授業についての説明 ・インターンシップの振り返り						
第2週	・製菓衛生師試験の対策① 授業について						
第3週	・就職対策 自分に合った就職先の見つけ方 ・求人票の見方						
第4週	・就職活動について 面接練習①						
第5週	・就職活動について 面接練習②						
第6週	・就職活動について 面接練習③						
第7週	・製菓衛生師試験の対策②						
第8週	・製菓衛生師試験の対策③						
第9週	・製菓衛生師試験の対策④						
第10週	・製菓衛生師試験の対策⑤						
第11週	・製菓衛生師模擬試験						
第12週	・模擬試験採点・解説						
第13週	・製菓衛生師試験の対策⑥						
第14週	・製菓衛生師試験の対策⑦						
第15週	・製菓衛生師模擬試験						
評価方法	・提出物の提出 ・出席数、授業態度 ・製菓衛生師の受験・試験の合格 ・希望の就職先への内定 以上を踏まえて評価とする。						
教科書 教材など	・製菓衛生師全書 ・製菓衛生師の手引き ・お菓子「コツ」の科学 ・製菓衛生師教本 上下 ・パン「コツ」の科学						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	校外実習	学科名	パティシエ・ブーランジェ学科			授業方法	実習
担当教員	石井 美紗恵	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	校外実習では学生の専門的知識・理論などの理解を深めるとともに、実際の現場を体験することで学生が職業意識を高め、自己の適性や将来の進路を考えることを目的とする。 授業方法としては学生がアポイントを取った企業に3日～5日間、8時間程度の職場実習を体験する。						
到達目標	・専門知識・理論や技術を身に付ける ・実際の現場を体感し職業知識を高める ・将来や進路を定める						
授業計画・内容							
第1週	①実習期間 2月末～3月末(春休み期間) ②授業計画 ・業界研究を行い、インターンシップ先を決める ・電話練習、訪問訓練を行う ・学生自らが希望実習先に連絡し、打合せの訪問をする ・教員が実習先に連絡、訪問し、校外実習の概要等を伝える ・3～5日間の校外実習を行う ・教員が御礼訪問を行う ・校外実習後学生面談を行う ・学生に実習先にお礼状を書かせる ③内容等 学生は実習期間中毎日、実習日誌を記入し、実習先の担当者に確認してもらう						
第2週							
第3週							
第4週							
第5週							
第6週							
第7週							
第8週							
第9週							
第10週							
第11週							
第12週							
第13週							
第14週							
第15週							
評価方法	・実習期間の実習態度、出席状況 ・実習後、実習先に評価表を提出してもらう						
教科書 教材など	製菓衛生師教本 上(全国製菓衛生師養成施設協会) 解いてわかる 製菓衛生師試験の手引き(辻製菓専門学校) 配付資料						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		